# SCE-02　USB インターフェース 取扱説明書

1WMPD4002096

## １．特長

・パソコンにはかりを USB 接続して、計量値をパソコンに送信することができます。
　対象 OS は、Windows 98SE 以降です。
・Windows 標準のドライバを使用するため、複雑な専用ドライバのインストールが不要で、接続するだけで計量値を送信できます。
・Windows の Excel や Word、メモ帳など、どのアプリケーションにもデータを送信できます。

注意：・パソコンに送信できるデータは計量値のみとなります。ヘッダ、単位は送信されません。
・パソコンからはかりにコマンドを送ることはできません。コマンドによりはかりを制御したい場合は、SCE-03 の RS-232C をご使用ください。
・SCE-02 と SCE-03 の同時使用はできません。
・パソコンのスクリーンセーバー、サスペンドモードはオフにしてください。
・Windows、Excel、Word は米国およびその他の国における米国 Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

## ２．取付方法

注意：本体から電池を外した状態で、以下の作業を行ってください。

手順１　基板を USB ミニの差し込み口が付属ケースの下部の穴に合う方向で、ケースの溝に沿って入れます。

手順２　防水パッキンを付属ケースのネジ穴の位置に合わせます。

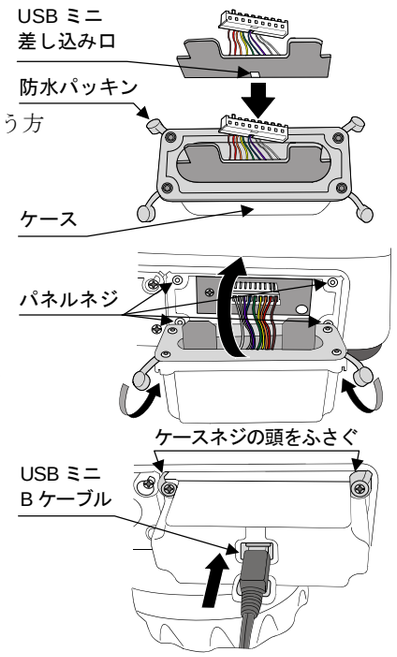
手順３　表示器の右側のパネルのネジ（４本）を外します。

手順４　基板の差し込みコネクタと表示器の端子台を接続します。

手順５　ケースのネジ（４本）を締めます。

手順６　締めたネジの頭の部分に、飛び出している防水パッキンでふさぎます。

手順７　別売の USB ミニ B のケーブルを、ケース裏の差込み口に差し込みます。




## ３．使用方法

手順１　パソコンの電源を入れ、Windows を起動します。次に、はかりの電源を入れます。

手順２　USB ケーブルをはかりとパソコンに接続します。

注意：USB ケーブルの接続は、はかりのデータ出力モードをストリームモード以外の設定で行ってください。

手順３　初めて接続する場合、ドライバがインストールされます。詳細は「４．Windows 標準ドライバのインストール」をご覧ください。２回目以降はこの手順は必要ありません。

手順４　計量データを送信するパソコンのアプリケーション（Excel など）を起動します。
キーボードの入力モードを半角設定にします。
計量データを送信したい位置にカーソルを合わせます。

手順５　はかりの［プリント］キーを押すと、現在カーソルがある位置に計量データが送信されます。

手順６　終了する際は、そのまま USB ケーブルを抜きます。

## ４．Windows 標準ドライバのインストール

○Windows 2000／Me／XP の場合
　接続するだけで自動でドライバがインストールされます。インストールが完了するまでお待ちください。

○Windows 98 の場合

手順１　「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。「次へ」を押します。

手順２　「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択して「次へ」を押します。

手順３　すべてのチェックを外して「次へ」を押します。

手順４　「USB ヒューマンインターフェイスデバイス」が表示されていることを確認して「次へ」を押します。

手順５　ドライバがインストールされます。インストールが完了すると右の画面が表示されます。
「完了」ボタンを押します。

※　インストール中に Windows 98 の CD-ROM を入れるようにメッセージが出ることがあります。
この場合、Windows 98 の CD-ROM を入れて、「OK」を押してください。


株式会社エー・アンド・デイ
本社　〒170-0013　東京都豊島区東池袋 3-23-14
（ダイハツ・ニッセイ池袋ビル 5F）
TEL. 03-5391-6126　FAX. 03-5391-6129